

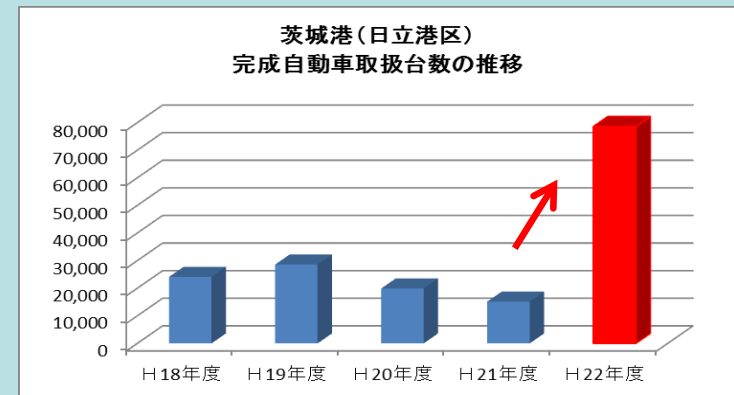
完成自動車の取り扱いが飛躍的に増加

— 茨城港日立港区の機能強化 —

完成自動車の輸出入拠点として利用拡大



●茨城港日立港区では、メルセデスベンツの新車整備センターの集約や高速道路ネットワークの強化による日産自動車の利用開始、モータープールの整備等により、自動車物流拠点としての地位が確立するとともに、完成自動車の取扱量が、飛躍的に増加。



▼平成22年4月～
メルセデス・ベンツが国内新車整備センターを日立市に集約
・主要拠点を集約し、物流機能を強化



・国内の主要な
輸入拠点
・整備後、
全国で販売

・物流の効率化
・CO2削減
・コスト削減

▼平成22年5月～
日産自動車による北米向け車両の輸出開始

・栃木工場で生産される完成自動車の一部を日立港区から輸出
・輸送距離と時間の短縮により、年間約1,000トンのCO2削減が可能

(日産調べ)

着々と整備が進む、茨城港日立港区周辺のモータープール

